

研究紹介

タイの学生と学ぶ、建築を通じた国際交流

琉球大学 工学部 工学科 建築学コース・助教 金城 春野

(E-mail : kinjohrn@cs.u-ryukyu.ac.jp)

タイから4名の学生が2か月間インターンシップに参加

建築学コース建築デザイン・計画分野（入江研究室・金城研究室）では、毎年、タイ・バンコクにあるキングモンクット工科大学ラカバン校（KMITL）から学生を受け入れ、国際交流を行っています。このプログラムは、10年以上継続して実施されており、建築を通じた交流と学生の実践的な学びの場として定着しています。

今年も5月から6月にかけての約2か月間、4名の学生が滞在しました。期間中は、本学学生寮で生活しながら、建築デザイン・計画分野の学生研究室を拠点として、日本人学生と共同で建築設計に取り組むワークショップに参加したほか、県内の建築設計事務所でのインターンシップや建築視察など、多様な活動に取り組みました。

日々の設計活動や学生生活を共にする中で、英語を共通言語として交流を深め、それぞれの文化や建築に対する考え方、設計手法について学び合う機会となっています。

学生主体で取り組んだ建築ワークショップ

建築ワークショップは、本学学生が主体となって企画・運営しています。事前の課題設定に加え、中間発表会・最終発表会の英語での司会進行も学生自身が担当しています。

制作過程では、タイと日本で異なる設計プロセスや表現方法が見られます。高度な3DCGを用いて早い段階から空間をビジュアル化しながら設計を進めるタイ人学生に対し、日本人学生は、ディスカッションを重ねて設計コンセプトを練り上げることから始めます。それぞれの得意を生かしながら、時には意見の違いに向き合いながら、設計を進めました。互いの考え方や技術を学び合うことで、新たな視点や表現方法に触れる機会となりました。

ワークショップ最終日の発表会では、各チームが英語でプレゼンテーションを行い、設計の意図や提案内容について意見交換が行われました。国籍を越えて協働した成果は、参加した学生にとって大きな達成感と自信につながるとともに、互いの交流を一層深める機会となりました。

写真 上：集合写真、中・下：制作した建築パース

